

6月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成21年6月30日(火)14時~15時15分
- 2 開催場所 4階会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、大石委員長職務代理者、森委員、榎崎委員、浦郷教育長
事務局：浦郷教育部長、浦川教育総務課長、山口学校教育課長、森文化・学習課長、田代未来課長、荒川図書館・歴史資料館館長、綿島学校教育課参事
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 前回会議録の承認
- 7 教育長の報告
- 8 提出議案 1.第6号議案 公民館長の任命について
2.第7号議案 武雄市教育委員会評価委員会委員の委嘱について
3.第8号議案 公民館運営審議会委員の委嘱について
4.第9号議案 武雄市図書館・歴史資料館協議会委員の委嘱について
- 9 その他 ア.各課等からの報告
イ.次回開催日程について
ウ.その他
- 10 会議録

午後2時 開会

諸石委員長

こんにちは。6月の定例教育委員会を始めたいと思います。

昨日は山内中学校の学校訪問で、それぞれの関係の皆さん大変お疲れ様でした。

もしかしたら今年は空梅雨かも分からないとの予測もありましたが、雨が降りまして、水の少ない武雄地区にとっては何かほっとするような雨でございました。今後は、豪雨災害等への配慮もしなければいけないような感じも致します。気を抜かないで、情報等を十分に収集しながら、子どもたちの安全の確保に努めていきたいと思います。

では、早速会議に入りたいと思います。会議順は表紙の裏側に書いてありますレジユメの通りに進めていきたいと思います。今日は、この会議の終了後、研修会等も計画されているようですので、会議がスムーズに進みますようご協力方お願いしたいと思います。

まず、議事録署名人の指名でございますが、今月は森委員さんへお願いをしておりましたので、よろしゅうございましょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)

では、よろしくお願ひいたします。

次に、前回の会議録の承認の件でございますが、事前に配付していただいておりますが、委員さん方、それぞれ目を通していただいていると思います。何か訂正等ありますでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、承認をいたします。

では、次に教育長の報告でございます。浦郷教育長よろしく申し上げます。

浦郷教育長

では、失礼します。委員の皆様方、連日お疲れさまでございます。

1ページの教育長報告をご覧いただきたいと思います。太字にしております部分を中心に申し上げたいと思います。

5月21日「臨時学校訪問」としてありますが、特別支援教育の充実と不登校対応で4月、5月が大事な時期であるということ踏まえて、ちょっと気がかりなこと、あるいは体制の充実度等を考えまして、何校か臨時に学校訪問をしております。

特別支援学級のある学校は全校訪問したいと思っておりますが、時間的に、私と学校の折り合いが付かなくて、まだ全校は行けておりません。

それから、「新任校長ヒアリング」というのは、今年度の学校経営方針について、新しく来られた先生方とのヒアリングをしたところでございます。

それから、6月に入りまして「市町教育長と県との意見交換会」。これは何回もお話ししておりますが、事務所再編についての意見交換会でございます。

県は、5事務所から2.5事務所への移行という考えを持っておられる訳ですが、これは時間的には長く経過している訳で、もう要らないのではないかと。2.5がだめならゼロだろうという方向の話でありまして、そうしたときにどういう影響が出るかということで、色々な意見が出ているところです。まだ決定はみておりません。

6月4日は「市文化連盟発足式」ということで、旧武雄市、北方町、山内町の文化連盟が市の文化連盟として発足式をされました。

それから、5日は「北方幼稚園の公開保育」がありまして、これは幼稚園の教育課程の研究をしておられる訳でありまして、県内の幼稚園から多数参観にみえておられます。

それから、7日は「教師力向上セミナー」の部分濃くしておりますが、前文部科学省教科調査官の井上一郎先生、言語活動に一番関わりのある先生であります。お出でいただいたのセミナーが開かれております。

それから、8日は前回から説明しておりますように「教科書採択地区協議会」、これは中学校歴史分野の教科書の採択についての協議会でございます。

それから、ずっと下がりにまして、19日に「ジュニアウインド実行委員会」をしております。そして27、28日に実際に「ジュニアウインド講習会」と書いております。その練習があった訳ですけども、現在これに単独で400万円の予算が付いております。17年度あたりから文化庁の事業で進められたものが、その指定が切れてからも、昨年、今年と400万円の予算が付いている訳です。400万円の予算が付く事業というのはそう多くはない訳でありまして、そういう面では非常に高い成果を挙げているところです。

今回は、中学校を2日に分けて、それぞれで指導をしていただきました。8名の先生方が東京、広島から来ていただいております。

それから、「朝日町青年ふれあい講座」の部分を濃くしております。これは、これからの社会教育を考えたときに、青年世代にどうい社会教育の対応ができるかという面では、1つの画期的な試みであろうということで、今後注目していきたいと思っております。

それから、新型インフルエンザの2例目が出た訳でありまして、これからどうなるのか分かりませんが、備えだけはしておきたいと。そして、冒頭、委員長の話にありました梅雨末期の豪雨対応につきましても遺漏がないようにしておきたいというふうに思っております。

大きな2番目としまして、文科省・県教委・杵西教育事務所の動向、教科書採択などについては、先ほど申し上げたところです。

今年度から、「学校多忙化対策検討会」というのが開かれております。非常に学校は忙しいということは聞く訳ですが、本当に何がどう忙しいのかということ杵西地区、事務所単位で検討会を開いておられます。省けるものは何なのかというようなことですね。これは非常に注目しているところです。

それから、特別支援の就学相談が始まる訳であります。これにつきましては、県の主催で行っていたものを、市町の主催で行うというような方向に変わりつつありまして、若干、教育長会でも問題になっているところです。専門の先生方をどう確保して、適正な就学相談をできるようにするためにということで、協議をしているところです。

今、出ている方針では、武雄市は全て来年度から嬉野特別支援学校の校区割の中に入るという形になります。

それから、管理職採用・昇任選考でございますが、幾らか変更点もありまして、今回から大きく変わったものは校長も自己推薦ができるようになったということです。教頭先生の中から自己推薦で校長の採用選考試験も受けられるということです。

それから、主幹教諭というのがある訳ですけれども、この主幹教諭の経験年数も校長採用条件の年数にカウントできると。教頭3年のうちの全部が主幹教諭3年というのはいけないけれども、3年のうちの2年間は主幹教諭であったとか、1年は主幹教諭であったと。これは教頭経験に含むということでございます。

現在、予定として校長が11名、教頭が20名ぐらいの方が受験されるのかなというふうに思っておりますが、ことしの春を考えると、1人か2人の採用昇任枠でありますので、非常に厳しく狭き門であります。

それから、大きな3番目、生涯学習関係でございますが、これは大きな行事で、来年度の11月20、21日に全国人権・同和教育研究大会が開催され、その会場が佐賀市、唐津市、武雄市となっております。1万人規模の研究大会を予定されております。

それから、今年度の県民体育大会が、10月17日、18日の土・日2日間で行われます。現在、テーマとなる標語の募集等が行われている段階です。それから、先ほど言いましたように、「武雄市文化団体の合併推進」としてありますが、既に合併されております。

学校教育関係につきましては、実は今日午前中に校長会を開催したところですが、その中でも話したことですが、武雄市の場合は2学期制をいかにうまく使うか。これが一つの大きなポイントであろうと思っております。

2学期制になって、夏休みの位置付けがかなり変わってきているというのは事実でして、その連続性の中で、前期の連続性の中で夏季休業が生きているということで、生かさないといけないと思っております。

それから、不登校対応ですね。これは最初のあたりで申しましたが、学校の方針、計画等は確認をしながらやっている訳ですけども、今日は校長会の中で、中学校の校長先生のほうから自分の学校の対応等についての説明等がありまして、その手段、方策等々については共有して、市内・全国関係あることだとして、関わりのあることだとして進めていきたいと思っております。

学力向上についてですが、県の学習状況調査、これまでと傾向としては変わらないけど、小学校については、県平均並みからやや上回る状況ということです。中学校はいずれにしても、この状況でありますので、県平均を下回る教科領域が増えております。そういう意味で、ただ中学校だけ頑張ればよいということではない訳ですので、小学校も含めて、いつも新しい時代が来ているということで話をしている訳ですが、対応していきたいと思っております。

それから、新しい学習指導要領の移行時期になっておりまして、外国語活動とか、次に書いております、昨日も話題になりました言語活動の重視、それから、実は今回の議会で理科の備品等の予算をお願いしたところであり、その整備ができつつある訳であります。新しい学習指導要領への移行というものに対応しているところです。

それから、目立ったところでは、武雄子ども議会、名称は正式決定しておりませんが、8月22日を予定して、市議会の議場を使って、子どもの合併意識を高めて、10年後ぐらい先を見通した未来に向かっての会議を開いたらどうかということで、小・中学校の特別活動部会の先生方の協力を得て進めているところです。

それから、今年度の教育方針の大きなねらいとして、「市民総参加による教育のまちづくり」というテーマを掲げている訳ですが、この後も報告等あるかわかりませんが、やはりトムソーヤ事業の進化・充実ということですね。それから昨日『典子は今』の映画・講演会が開催された訳ですが、これはご存知の通り、理容師組合の方が主催していただきました。色々な形で教育への貢献というのがある訳であります。また、「少年の船事業」も今年度夏行われる訳です。雄武町からもみえます。教育委員会に限らず、いろんな方々の応援を得つつ進めているという状況でございます。

6月は市議会定例会が開催されました。その中での話題といたしましては、インフルエンザ対応がございました。これは基本的には市長部局健康課との連携で進めるという形でございます。

教育委員会の組織とか教育委員さんの役割とか、直接、教育委員会に関わるような質問もございました。

それから、小学生の進路指導とか、宇宙科学館の活用、宇宙少年団が武雄にある訳ですけども、これらの活動とか、あるいは小・中学校の整備計画、青少年赤十字の加盟について、社会体育施設の使用料とか、窯跡保存とか、そういうようなことが話題になっておりまして、対応してきたところでございます。

以上、教育委員会の状況と報告を終わりたいと思います。

諸石委員長

ありがとうございました。

教育長さんから報告がありましたが、何かご質問はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、先に進んでよろしいでしょうか。

報告ありがとうございました。

では、次に議事に入りたいと思います。

まず、提出議案で6号議案、7号議案、8号議案、9号議案が出ておりますが、1項目ずつ進めて参りたいと思います。

まず、6号議案 公民館長の任命について、どうぞお願いします。はい、教育総務課長。

浦川教育総務課長

それでは、2ページをお願いいたします。

第6号議案 公民館長の任命について説明いたします。

平成21年6月30日の任期満了に伴いまして、武内公民館運営審議会から適任者として推薦があった方を公民館長に任命したいので、教育委員会の議決を求めるといふものです。

お名前を申し上げますと、武内公民館館長の適任者ということで、竹内紀弘さん、昭和18年2月1日生まれでございます。任期につきましては、平成21年7月1日から平成24年6月30日までの3カ年でございます。

提案理由は、社会教育法第28条の規定に基づき任命するということです。3ページに武内公民館運営審議会から公民館長としての推薦書が提出されております。

以上です。

諸石委員長

武内の公民館長の任命の議決を求めてありますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、提案のあった武内公民館長さんを承認することにしたいと思います。

C委員

今までに引き続いての再任ですか。

浦川教育総務課長

はい。再任です。

諸石委員長

再任ということでございます。

それでは次に、第7号議案 武雄市教育委員会評価委員会委員の委嘱について、提案をお願いいたします。

浦川教育総務課長

それでは、4ページをお願いいたします。

第7号議案 武雄市教育委員会評価委員会委員の委嘱について提案いたします。

お名前を申し上げます。撫尾（うつお）知信さん、昭和22年8月12日のお生まれですので、61歳になられます。

この方は、住所が佐賀市巨勢町、現在は、佐賀大学の文化教育学部の教授をされておりますが、前の文化教育学部長でございます。

提案理由ですけれども、武雄市教育委員会評価委員会設置要綱の規定に基づいて委嘱したいということです。

説明については、以上です。

諸石委員長

評価委員会委員の提案がなされておりますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、委員としてお願いしたいと思います。

続いて、第8号議案 公民館運営審議会委員の委嘱について、提案をお願いいたします。

浦川教育総務課長

それでは、5ページをお願いいたします。

第8号議案 公民館運営審議会委員の委嘱について提案いたします。

まず、中央公民館運営審議会委員についてですが、緒方耕治さん、この方は若木公民館の運営審議会の代表、庭木稜威雄さん、この方は西川登公民館の運営審議会の代表、それから中野稔さん、この方は武雄市校長会の代表ということでございます。

いずれの方々も前任者の残任期間ということで、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの期間となっております。

次に、若木公民館の運営審議会の委員、緒方耕治さん、若木町体育協会の会長、中尾克幸さん、若木町区長会の会長、大庭弘毅さん、子どもクラブ育成連絡協議会の会長、山口明海さん、若木小学校育友会の副会長、久保真澄さん、武雄北中学校育友会の副会長ということで、この方々も前任者の残任期間で、平成21年4月1日から平成22年3月31日ということでございます。

提案理由は、武雄市公民館の設置条例第4条の規定に基づき委嘱したいということです。

6ページには中央公民館館長よりの交代の報告、次に7ページ、若木公民館館長からの交代の報告を添付しております。

説明は以上です。

諸石委員長

公民館運営審議会委員の委嘱についての提案がされておりますが、まず中央公民館運営審議会の委員さんとして3名さん出されておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、承認といたします。

それから、若木公民館運営審議会委員さんとして、5名さんが提案されておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、中央公民館運営審議会委員さん、それから若木公民館運営審議会委員さんの全員の承認をしたいと思います。

それでは、第9号議案 武雄市図書館・歴史資料館協議会委員の委嘱について、提案をお願い

します。

浦川教育総務課長

それでは、8ページをお願いいたします。

第9号議案 武雄市図書館・歴史資料館協議会委員の委嘱について提案いたします。

お名前が松尾信幸さん、この方は武雄市連合PTAからの推薦ということでございます。

任期は、前任者の残任期間ということで、平成21年4月1日から平成22年3月31日まで。

提案の理由ですけれども、武雄市図書館・歴史資料館設置条例第13条の規定に基づいて委嘱するということでございます。

9ページには、図書館・歴史資料館の館長から、委員交代の報告が上がっております。

以上です。

諸石委員長

では、図書館・歴史資料館協議会委員の方の提案がなされておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、この方をお願いしたいと思います。

それでは、次に進んで、その他に入りたいと思います。

各課からの報告でございます。

では、教育総務課からお願いいたします。

浦川教育総務課長

12ページをお願いいたします。

北方・山内の学校給食センター運営委員会委員の交代がありましたので、ご報告いたします。いずれの委員さんにつきましても、任期は1年ということになっております。新任、再任、それぞれでございますけれども、ご覧の通りの委員さんとなっております。

教育総務課は以上です。

諸石委員長

次に、学校教育課からお願いいたします。

山口学校教育課長

行事報告、行事予定ともに記載の通りです。

14ページ、人事の内申関係について。常勤講師のところ、休職に伴う採用で、武雄小学校香月卓也さん。期間は、平成21年6月26日から平成21年8月31日まで。それから、補助者として福田眞弓さん。氏名の記載漏れです。追加をお願いします。

次に、4番目の寄附採納について、武雄町の岸川千里様から図書、川登中学校同窓会代表・丸田誠様から電波時計をいただいております。

以上です。

諸石委員長

次に、文化学習課からお願いいたします。

森文化・学習課長

文化・学習課です。15ページから19ページまでになっております。

その中で、17ページですけれども、スポーツ系のほうです。

6月27日、第56回市民体育大会開会式が行われております。その開会式終了後、各町対抗の綱引き大会も開催されておまして、若木町が優勝ということになっております。

18ページですけれども、5月31日、第29回武雄音楽祭。6月4日には、文化連盟の設立総会が開催されております。これで名実ともに一本化になったということになります。

6月14日、森山直太郎のコンサートがありましたけれども、席が2つしか余らない満員といってもいい状況の中で、非常に盛況のうちに終わることができたと思っております。

以上でございます。

荒川図書館・歴史資料館長

はい、20ページです。

行事報告につきましては、6月19日から8月19日までの日程で「ミニ企画展 文明のあかり展」を開催しているところですが、皆様のお手元に解説資料を差し上げております。

次に、行事予定です。7月10日金曜日、14時から、図書館歴史資料館協議会、場所、エポカル武雄で開催します。今月の委員会資料の報告後に決定しましたので、追加してください。

以上です。

諸石委員長

それでは次に、未来課からお願いいたします。

田代未来課長

こども部未来課です。

資料の21、22ページをご覧くださいと思います。

まず、行事報告を21ページのほうに掲げておりますが、特に、5月24日、わんぱくスクールの開校式には教育長に激励の言葉をいただいております。ありがとうございました。

それから、6月14日、少年の船の開校式と事前研修の1回目を行った訳ですけど、このときも教育委員長と教育長に激励の言葉をいただいております。ありがとうございました。

それから、行事予定でございますが、22ページ、主立ったものでございますが、7月21日から26日、わんぱくスクール青島サバイバルキャンプを、5泊6日の日程で松浦市の青島で予定しております。このとき、教育委員会の20年度の行事等参加表の中にもありますように、教育委員さんも非常にお忙しい中だと思っておりますが、是非、お出でいただいて激励していただければと思います。正式には、お願いの文書を出しますので、ご配慮をよろしくお願いしておきます。

それから、最後のところですが、7月27日から31日まで、北海道雄武町の児童交流派遣団の受け入れということで、教育長以下15名の派遣団が来られることになっております。後だって正式にお願いを申し上げますが、7月28日に市長への表敬訪問が16時半に予定されていますので、このときも教育委員さん、教育長さん出席等をよろしくお願いいたします。

また、日にちが7月29日になるかと思っておりますけど、懇談会を予定しておりますので、そちらへのご出席もよろしくお願ひしたいと思います。

7月は、末のほうに大きい行事を抱えております。前後しますけど、わんぱくスクールについては、こども部未来課が主管課で行っておりますが、5泊6日のキャンプということで、指導者

と子ども部をあげて当たるようにしております。同じく、教育委員会のほうにも、ご協力、ご指導方よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

諸石委員長

はい、ありがとうございました。

では、一括して報告をいただきましたので、それに対する質問を受けたいと思ひます。

荒川図書館・歴史資料館長

済みません、いいでしょうか。

諸石委員長

はい、どうぞ。

荒川図書館・歴史資料館長

図書館・歴史資料館からですが、追加をお願いします。

7月9日から10日までですが、3日間、盲学校の中学部の児童1名、職場体験をいたします。よろしくお願ひします。

森文化・学習課長

済みません、文化・学習課からの追加よろしいでしょうか。

生涯学習ですけれども、16ページに、行事予定で、7月25日から12週間になりますが、釜山女子大学からお二方、ホテルのインターンシップということでお見えになります。

諸石委員長

ほかに追加等はございせんか。

A委員

質問ですが、報告の中にありました、武雄市子ども会議というのがあるようでございせんが、今、私たち詳しく知らない訳ですが、具体的に、もう少し説明をお願いします。

山口学校教育課長

今度の議会でも出ましたけど、未来の武雄市を担う人材を育成するということと、議会についての仕組み、意識付けをするために小学生、中学生に参加を募って、子ども会議を開こうということで、8月22日にその会議を予定しております。武雄市子ども会議の学校担当者会議とか、子ども実行委員会という方式をとりまして、現在、話し合いを進めているところです。

A委員

そしたら、各小・中学校2名か3名参加ということになる訳ですか。

山口学校教育課長

そうですね、代表して2名ぐらいですね。

A委員

市議会議場でされる訳ですか。（「子ども会議と子ども議会、どっちが本当ですか。」と呼ぶ者あり）

山口学校教育課長

子ども会議となっておりますけど、このときの名称、まだ固まっておりますんですけど、子

ども会議じゃなくて、子ども議会ですね。申し訳ありませんでした。

A委員

議会になる訳ですね。

山口学校教育課長

はい、議会になります。申し訳ありません。

C委員

対象は、中学校は3年、小学校は6年ということですか。

山口学校教育課長

小学校は6年生ですが、中学校は2年生です。

A委員

子ども議会の開催に至ったきっかけについて、もう少し、内容的に詳しく教えていただけませんか。議員さんの提案がきっかけということなんでしょうか。

山口学校教育課長

前々からそういうものをやろうという機運は高まっていまして、段階的な積み上げなり、それに向けての準備はしておりました。だから、今度、いきなりという形じゃなくして、合併記念に対して、その会議を開こうという考えはこれまでありました。

浦郷教育長

昨年度の議会の折に、将来を担う子どもたちも、未来のこと、将来のことを語り合う場を持つてもよくないかという提案はあった訳です。いい提案ですから、検討してみましようという返事をしていた訳ですね。今度、再度質問がありまして、並行して、どういう形で出来るか小・中学校の特別活動部会に、出来るかどうか検討をしてもらっていたんです。そしたら、前向きな返事をいただきまして、課長が言ったような、いろんなメリットがあるし、やってみましようということで、市議会の議場を使いますので、議会にも許可をいただきまして、それで詳細についてはこれから詰めていかないといけないですけど、先ほど言ったような進展を見ているところですね。

諸石委員長

A委員さん、いかがでしょうか。よろしいですか。

A委員

はい、結構です。

諸石委員長

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、次に進んでよろしいでしょうか。

各課の報告ありがとうございました。

では、次回開催の日程についてですが、事務局と打ち合わせをいたしまして、7月の委員会を、7月24日ということで提案したいと思いますが、いかがですか。金曜日、2時からですが、いいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

はい。では、次回の委員会を、7月24日金曜日、14時からということに決定したいと思います。

では、その他の項に移りたいと思います。

浦川教育総務課長

その他の項は、特に用意しておりません。

諸石委員長

はい。分かりました。

それでは、この後、勉強会をしたいと思いますので、委員会はこれをもちまして終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

午後3時15分 閉会